

令和4年度第6回「しがwebアンケートプラス調査」

(県内向け調査)の結果について

1 調査の目的

県政における喫緊の課題や重要事項について、インターネットを活用し適時迅速に県民の意識や意向を調査し、速やかに県の方針や県政運営に反映させるための基礎資料とする。

2 調査の概要

- (1) 調査対象 県内在住の満 18 歳以上の個人
- (2) 標本数 500 人
- (3) 調査方法 インターネットを利用し、パソコン、スマホ等により回答するWEB調査
- (4) 調査期間 令和5年2月14日(火)～ 2月20日(月)
- (5) 調査会社 株式会社クロス・マーケティング

3 調査項目

地籍調査に関する意識調査

4 主な調査結果

Q1 あなたの居住する住まいは、一戸建て(自己や家族の所有、借家などを問いません)ですか。

(答えは1つ)

- | | |
|--|-------|
| 1 位:一戸建て | 70.6% |
| 2 位:共同住宅(マンション、アパート、公営住宅など)
(間借りや下宿を含む) | 29.2% |
| 3 位:その他 | 0.2% |

Q2 あなたや同居する家族は、居住する場所以外に、土地(宅地、田、畑、山林など。県内外を問いません。)を所有されていますか。(答えは1つ)

- | | |
|-------------|-------|
| 1 位:所有していない | 68.6% |
| 2 位:所有している | 24.4% |
| 3 位:わからない | 7.0% |

Q3 あなたは、土地(建物は除きます)の売買や貸借をしたことがありますか。(答えは1つ)

- | | |
|----------------------|-------|
| 1 位:したことがない | 75.6% |
| 2 位:したことがある | 17.4% |
| 3 位:わからない(覚えていないを含む) | 7.0% |

Q4 もしもあなたが、土地の売買や相続を行うことになったとき、どのようなことが気になりますか。(答えはいくつでも)

- | | |
|---------------|-------|
| 1 位:土地の価格や評価額 | 50.4% |
|---------------|-------|

2 位:税金	46.6%
3 位:わからない	34.6%
4 位:土地の場所や大きさ、形状	25.4%
5 位:その他	0.8%

・「土地の価格や評価額」と回答した人は、50.4%と最も多くなっており、次いで「税金」の46.6%となっており、土地を所有していた場合、その価値や税など、金銭関係に関心が高いことがうかがえる。

・「わからない」と回答した人も34.6%と、約 1/3 を占め、土地に関する取引等の経験がないことが影響しているものと考えられる。

Q5 現在、全国的に「地籍調査」が進められていますが、あなたはこの調査について、知っていましたか。(答えは1つ)

1 位:全く知らない(この調査で初めて知った)	56.6%
2 位:あまり知らない(聞いたことがある程度)	32.0%
3 位:ほぼ知っている	8.6%
4 位:よく知っている	2.8%

・「全く知らない」と回答した人が56.6%と最も多く、次いで「あまり知らない」の32.0%となっており、地籍調査が殆ど知られていないことがうかがえる。

Q6 「地籍調査」を行うと、地方自治体にとっては、私有地と道路や河川との境界がはっきりし、もし災害が発生しても復旧事業等を素早く進めることに役立ちます。また皆様にとっては、境界のトラブル防止や土地取引の信頼性も高まります。この「地籍調査」には皆様の費用負担はありませんが、立会等に協力していただくことがあります。もし、あなたがお住まいの地域で「地籍調査」が実施されることとなった場合、あなたはこの調査に協力しますか。(答えは1つ)

1 位:まあ協力する	36.2%
2 位:わからない	28.6%
3 位:あまり協力したくない	12.2%
4 位:協力しない	11.8%
5 位:ぜひ協力する	11.2%

・「まあ協力する」と回答した人が36.2%、次いで「わからない」の28.6%などとなっている。

・「まあ協力する」または「ぜひ協力する」と回答した、調査に協力的な人は47.4%と半数以下にとどまっている。

・「わからない」と回答した人も28.6%に上り、「協力しない」とする人も11.8%となっている。

Q7 Q6で、「あまり協力したくない」、「協力しない」または「わからない」と回答した人におたずねします。その理由は何ですか。(答えはいくつでも)

1 位:調査する理由がよくわからないから	56.3%
2 位:土地等の課税額が上昇する可能性があるから	16.7%
3 位:公共事業等を実施するときなど、必要に迫られたときにすればよいと思うから	16.0%
4 位:土地境界の確認の立会などが面倒だから	13.3%

- 5 位:土地のことで、隣人や親戚等とトラブルになる可能性があるから 8.4%
- 6 位:その他 6.5%

・「調査する理由がよくわからないから」と回答した人が56.3%と最も多く、次いで「土地等の課税額が上昇する可能性があるから」の16.7%、「公共事業等を実施するときなど、必要に迫られたときにすればよいと思うから」の16.0%などとなっており、地籍調査の趣旨などにつき、その重要性などが十分理解されていないことがうかがえる。

Q8 「地籍調査」は、全国的にみると、東北、北海道地方や九州地方などで進捗率が高く、滋賀県を含む近畿地方では概ね低い状況です。現在、滋賀県では、「地籍調査」の内容や重要性を県民の皆さんに広く理解していただくため、市役所や図書館、大型商業施設等での啓発活動などを行っています。あなたは、こういった活動を知っていましたか。(答えは1つ)

- 1 位:知らない(この調査で初めて知った) 94.2%
- 2 位:知っている 5.8%

・「知らない」と回答した人は94.2%となっており、現啓発活動の存在が、ほとんど知られていないことがうかがえる。

Q9 あなたは、Q8で示した、人が多く集まる施設等での啓発活動は、「地籍調査」の内容や重要性を県民の皆さんに広く理解していただくことに効果があると思いますか。(答えは1つ)

- 1 位:まあある 36.8%
- 2 位:わからない 29.6%
- 3 位:あまりない 19.4%
- 4 位:全くない 7.6%
- 5 位:かなりある 6.6%

・「まあある」と回答した人は36.8%、次いで「わからない」の29.6%などとなっている。

・「まあある」または「かなりある」を合わせると、何らかの効果があると受け止める人は43.4%となっており、半数近くの人が肯定的であった。

・一方で、「わからない」と回答した人も29.6%と、約1/3を占め、「あまりない」または「全くない」と回答した人も、合わせて27.0%に上り、効果に対して懐疑的な人も相当数いることがうかがえる。

Q10 あなたは、「地籍調査」の内容や重要性を県民の皆さんに広く理解していただくためにはどのような方法が効果的だと思いますか。(答えはいくつでも)

- 1 位:各種媒体での広報啓発(TV、ラジオ、SNS、HP、新聞、雑誌、チラシ、冊子等) 46.4%
- 2 位:わからない 35.8%
- 3 位:市役所、公民館等での住民説明会の開催 26.2%
- 4 位:土地の相続・税金に関する官公署との連携(法務局・税務署等) 24.0%
- 5 位:商業施設等での展示やイベントの開催 22.8%
- 6 位:土地の防災に関する事業との連携(防災訓練等) 16.0%

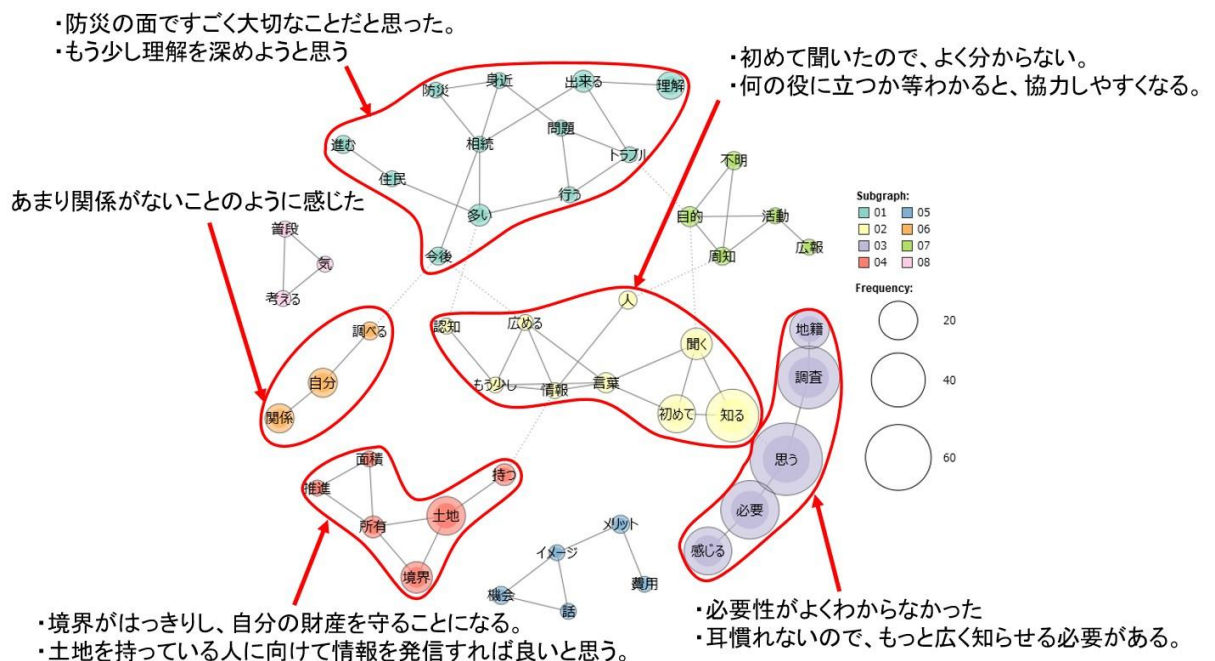
- ・「各種媒体での広報啓発」と回答した人は46.4%と最も多く、次いで「わからない」の35.8%、「市役所、公民館等での住民説明会の開催」の24.0%などとなっており、一般的な広報媒体が効果的とする人が多いことがうかがえる。
- ・Q8において認知度の低かった「商業施設等での展示やイベントの開催」については、22.8%であった。

Q11 あなたは、この調査を通じて、「地籍調査」について、どのように感じましたか。(自由記述)

・500人全ての人にご回答いただき、その主なものは次のとおりである。

・特になし、なし	156人
・わからない	85人
・進めるべき、必要だ	44人
・難しい	25人

- ・「進めるべき、必要だ」と回答した人は、本調査も通じて、地籍調査の重要性や必要性を認識しているものと考えられるが、44人と10%以下となっている。
- ・地籍調査については、本調査の設問の中でも趣旨等を記載しているが、元々県民にはなじみが薄く、特に土地取引等を経験していない人が75%を超えている(Q3)こともあり、「特になし、なし」、「わからない」といった印象を持つ人が合わせて241人と半数近くに上っているものと考えられる。
- ・なお、「個人情報盗み取られるようで怖い」、「他の目的で調査しているような気がする」といったご意見もあり、地籍調査の目的や趣旨、内容について、丁寧な説明が求められている。
- ・自由記述でいただいたご意見の要約として共起ネットワークグラフを作成した。
共起ネットワークグラフは、一つの文章内で同時に出現(共起)するキーワード間に何らかの関連性があると仮定して集計し、出現頻度が上位のキーワード(点)と関連性(線)から成るネットワークグラフとして可視化したものである。



※語と語が結ばれている線は、共起性や関連性を表している。

※円の大きさは頻出キーワードの出現頻度を表している。